

第1章 数と式

1 式の計算

例題 1 単項式の次数と係数

単項式 $3a^4x^3y^2$ について、次の問いに答えよ。

- (1) 何次式か。 (2) a について何次式か。
 (3) x について何次式で、係数は何か。 (4) x, y について何次式で、係数は何か。

解 (1) a について4次、 x について3次、 y について2次より、合計して、9次式
 (2) 4次式
 (3) x について3次式で、 x^3 以外の数と文字が係数より、係数は、 $3a^4y^2$
 (4) x, y について5次式で、係数は、 $3a^4$

1 次の単項式で、[]内の文字に着目すると何次式か。また、そのときの係数は何か。

- (1) $-3ax^2y^2$ [a], [y] (2) $-p^4q^3r^2$ [p], [q]
 (3) $-\frac{3}{4}abx^2y^3$ [x], [y], [a, b], [x, y]

2 次の整式の同類項をまとめて、何次式かをいえ。

- (1) $4x^2-7x+5-6x^2-3x-5$
 (2) $-2xy+3y^2-x^3+2y^2+4x^3+5xy$

例題 2 降べきの順

次の整式の[]内の文字について、何次式かを述べ、降べきの順に整理せよ。

$$ax^2+a^2x-2x^2+a^3+4a^2x^2+a+2 \quad [x], [a]$$

解 x については、最高次の項が2次より、2次式

x について降べきの順に整理すると、 $(4a^2+a-2)x^2+a^2x+a^3+a+2$

a については、最高次の項が3次より、3次式

a について降べきの順に整理すると、 $a^3+(4x^2+x)a^2+(x^2+1)a-2x^2+2$

3 次の問いに答えよ。

- (1) $-3x^2+12x-4+7x^2-8x+9$ を x について降べきの順に整理せよ。
 (2) $2x^2+2y^2-3xy+4y^2+5xy-x^2$ を y について降べきの順に整理せよ。
 (3) $a^2(b-c)+b^2(c-a)+c^2(a-b)$ を a について降べきの順に整理せよ。

●ポイント

- ① 単項式と多項式を合わせて整式という。
- ② 整式を1つの文字について降べきの順に整理しておくと、因数分解のとき役に立つ。
- ③ 例題2のように、係数が多項式になるとき、係数も降べきの順に整理しておく。

例題 3 整式の加法・減法

$5x^2-2xy+3y^2$ と $4x^2-6xy-y^2$ の和を求めよ。また、第1式から第2式を引け。

解 $(5x^2-2xy+3y^2)+(4x^2-6xy-y^2)=9x^2-8xy+2y^2$

$$(5x^2-2xy+3y^2)-(4x^2-6xy-y^2)=x^2+4xy+4y^2$$

4 次の式の和を求めよ。また、第1式から第2式を引け。

(1) $-3x^2-2x-1$, $2x^2-7x+5$

(2) x^2-3+2x , $2x^2-x+1$

(3) $2x^2+3xy-5y^2$, $-x^2+2xy+y^2$

(4) $x^2-5xy+2y^2$, $-3x^2+2xy+3y^2$

5 次の式の和を求めよ。また、第1式から第2式を引け。

(1) x^3-2x^2+3x-8 , $2x^3+3x^2-x+5$

(2) $2x^3+3x^2y-2xy^2-5y^3$, $-3x^3+2x^2y+8xy^2+3y^3$

例題 4 整式の乗法

次の問いに答えよ。

(1) $(-2ab^2)^2 \times (-3a^2b)^3$ を計算せよ。

(2) $(x^3-3x^2+2x-1)(x^2-3)$ を展開せよ。

解 (1) 与式 $= 4a^2b^4 \times (-27a^6b^3) = -108a^8b^7$

(2) 与式 $= x^3(x^2-3) - 3x^2(x^2-3) + 2x(x^2-3) - (x^2-3)$

$$= x^5 - 3x^3 - 3x^4 + 9x^2 + 2x^3 - 6x - x^2 + 3$$

$$= x^5 - 3x^4 - x^3 + 8x^2 - 6x + 3$$

6 次の式を計算せよ。

(1) $(-2xy^2z)^2 \times 3x^4y$

(2) $\{(-p^2q)^2\}^4 \times (pq^3)^2$

(3) $(-ab^2)^3 \times (3a^2b^3)^2$

(4) $\{(-2ab)^2\}^3 \times (3ab)^2$

7 次の式を展開せよ。

(1) $12a^2b\left(\frac{a^2}{6} - \frac{ab}{4} + \frac{b^2}{3}\right)$

(2) $(3x-x^2)(5x^2-2x+1)$

(3) $(x^2-2xy-3)(2x+3y)$

(4) $(a^2-ab+2b^2)(3a+b)$

8 次の式を展開し、 a について降べきの順に整理せよ。

(1) $(a+b+c)(a+b+2c)$

(2) $(a^2+b^2+c^2)(ab+bc+ca)$

●ポイント

- ① 加法・減法は、同類項の係数どうしを足したり引いたりする。
- ② 単項式と多項式の乗法は、分配法則を使って、単項式を多項式の各項に掛ける。

$$A(B+C)=AB+AC$$

例題 5 展開の公式

次の式を、公式を用いて展開せよ。

- (1) $(2a-3b)^2$ (2) $(xy+2z)(xy-2z)$
 (3) $(x+3y)(x-6y)$ (4) $(2x-1)(3x+2)$

解 (1) 与式 $= (2a)^2 - 2 \cdot 2a \cdot 3b + (3b)^2 = 4a^2 - 12ab + 9b^2$

(2) 与式 $= (xy)^2 - (2z)^2 = x^2y^2 - 4z^2$

(3) 与式 $= x^2 + (3y-6y)x + 3y \cdot (-6y) = x^2 - 3xy - 18y^2$

(4) 与式 $= 2 \cdot 3x^2 + \{2 \cdot 2 + (-1) \cdot 3\}x + (-1) \cdot 2 = 6x^2 + x - 2$

9 次の式を、ポイント①を用いて展開せよ。

- (1) $(p+5q)^2$ (2) $(3a-4)^2$ (3) $(-x^2-x)^2$
 (4) $(2a-5b)(2a+5b)$ (5) $(a^2+b^2)(a^2-b^2)$ (6) $(-pq+r)(-pq-r)$
 (7) $(-2x^2+3z)(2x^2+3z)$ (8) $(x+5)(x-8)$ (9) $(a-b)(a+6b)$
 (10) $(2x+3y)(2x+y)$ (11) $(pq+3)(pq-4)$ (12) $(a^2-3)(a^2+7)$
 (13) $(3x-2y)(2x+3y)$ (14) $(2a+5)(7a-3)$ (15) $(-3xy+2)(5xy-8)$

例題 6 いろいろな式の展開

次の式を展開せよ。

- (1) $(x^2-x+1)(x^2+x-1)$ (2) $(x+y-3)(x+y+5)$
 (3) $(x-1)(x+1)(x^2+1)$ (4) $(x-1)(x-3)(x+2)(x+4)$
- 解** (1) 与式 $= \{x^2-(x-1)\}\{x^2+(x-1)\}$
 $= (x^2)^2 - (x-1)^2 = x^4 - x^2 + 2x - 1$
- (2) 与式 $= \{(x+y)-3\}\{(x+y)+5\}$
 $= (x+y)^2 + 2(x+y) - 15$
 $= x^2 + 2xy + y^2 + 2x + 2y - 15$
- (3) 与式 $= \{(x-1)(x+1)\}(x^2+1)$
 $= (x^2-1)(x^2+1) = x^4 - 1$
- (4) 与式 $= (x-1)(x+2)(x-3)(x+4)$
 $= (x^2+x-2)(x^2+x-12)$
 $= \{(x^2+x)-2\}\{(x^2+x)-12\}$
 $= (x^2+x)^2 - 14(x^2+x) + 24$
 $= x^4 + 2x^3 + x^2 - 14x^2 - 14x + 24$
 $= x^4 + 2x^3 - 13x^2 - 14x + 24$

10 次の式を展開せよ。

- (1) $(x+y+z)(x+y-z)$ (2) $(2a-b+c)(2a+b+c)$ (3) $(x^2-x+1)(x^2+x+1)$
 (4) $(xy-x+2)(xy+x-2)$ (5) $(x+y-4z)(x+y+z)$ (6) $(2x-y-1)(2x-y-3)$
 (7) $(x+y+3)^2$ (8) $(a+2b-c)^2$ (9) $(x^2+x-2)^2$
 (10) $(x-3)(x+3)(x^2+9)$ (11) $(p-1)(p+1)(p+3)(p-3)$
 (12) $a(a-1)(a-2)(a-3)$ (13) $(x+1)(x+3)(x+5)(x+7)$

●ポイント

- ① 展開の公式(複号同順) (i) $(a \pm b)^2 = a^2 \pm 2ab + b^2$ (ii) $(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$
 (iii) $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ (iv) $(ax+b)(cx+d) = acx^2 + (ad+bc)x + bd$
- ② 公式をくり返し利用することを考える。複雑な式の展開では、何を1つのものとみるかが重要。
 例えば、 $a-b$ 、 $-a+b$ は同じ因数であること等に着眼する。
- ③ 前から順に計算するだけでなく、計算の順序を変えてみることも必要である。

例題 7 共通因数による因数分解

次の式を因数分解せよ.

(1) $2ax-4x^2$

(2) a^3-3a^2

(3) $6a^2b+2ab^2-4ab$

(4) $p(x-y)+q(y-x)$

解 (1) 与式 $= 2x(a-2x)$

(2) 与式 $= a^2(a-3)$

(3) 与式 $= 2ab \cdot 3a + 2ab \cdot b - 2ab \cdot 2 = 2ab(3a+b-2)$

(4) 与式 $= p(x-y) - q(x-y) = (x-y)(p-q)$

11 次の式を因数分解せよ.

(1) $3ab-6b^2$

(2) $4xy^2-12x^2y$

(3) $abxy-abpq$

(4) a^2+5a

(5) $2a^4-6a^2$

(6) $x^2y^2-2x^2y+3xy$

(7) $5a^3b^2c-15a^2bc^2-20a^2b^2c^3$

(8) $2a(a+b)+6b(a+b)$

(9) $a(x-y)+(y-x)$

(10) $3a(x-y)+6b(x-y)+9c(y-x)$

例題 8 2次式の因数分解①

次の式を、公式を用いて因数分解せよ.

(1) x^2+6x+9

(2) $4a^2-12ab+9b^2$

(3) a^2-9b^2

(4) $(a-b)^2-c^2$

(5) $x^2-10x+21$

(6) $a^2+3ab-18b^2$

解 (1) 与式 $= x^2+2x \cdot 3+3^2 = (x+3)^2$

(2) 与式 $= (2a)^2-2 \cdot 2a \cdot 3b+(3b)^2 = (2a-3b)^2$

(3) 与式 $= a^2-(3b)^2 = (a+3b)(a-3b)$

(4) 与式 $= \{(a-b)+c\}\{(a-b)-c\} = (a-b+c)(a-b-c)$

(5) 与式 $= x^2+(-3-7)x+(-3) \cdot (-7) = (x-3)(x-7)$

(6) 与式 $= a^2+(6b-3b)a+6b \cdot (-3b) = (a+6b)(a-3b)$

12 次の式を因数分解せよ.

(1) $a^2+10a+25$

(2) $x^2-16x+64$

(3) $x^2-8xy+16y^2$

(4) $a^2+14ab+49b^2$

(5) $9x^2+6x+1$

(6) $64a^2-48ab+9b^2$

(7) $3p^3-12p^2+12p$

(8) $4x^3y+4x^2y^2+xy^3$

●ポイント

因数分解の公式(複号同順)

① $ac+bc=(a+b)c$

② $a^2 \pm 2ab + b^2 = (a \pm b)^2$

③ $a^2-b^2=(a+b)(a-b)$

④ $x^2+(a+b)x+ab=(x+a)(x+b)$

13 次の式を因数分解せよ.

(1) x^2-4

(3) $9x^2-16y^2$

(5) $(x+y)^2-4z^2$

(7) x^4-25x^2

(2) a^2-64

(4) $4x^2y^2-z^2$

(6) $(a+b)^2-(c-d)^2$

(8) $2a^3-18ab^2$

14 次の式を因数分解せよ.

(1) a^2+6a-7

(3) $x^2+5x-14$

(5) $x^2+3xy-40y^2$

(7) x^3-2x^2-8x

(2) $x^2-8x+12$

(4) $a^2-ab-30b^2$

(6) $m^2+9mn+18n^2$

(8) $3x^4y+36x^2y^2+81x^2y^3$

15 次の式を因数分解せよ.

(1) $a^2+2a+1-x^2$

(3) $9x^2-y^2+4y-4$

(2) $4a^2-4ab+b^2-9c^2$

(4) $x^2+4x+4+2xy+4y$

【例題】9 2次式の因数分解②

$6a^2-ab-12b^2$ を因数分解せよ.

【解】 a^2 の係数 6 と $-12b^2$ を分解し、たすき掛けの結果が $-b$ になるものを見つける.

右の結果より,

与式 $= (2a-3b)(3a+4b)$

$$\begin{array}{rcl} 2 & \times & -3b \longrightarrow -9b \\ 3 & \times & 4b \longrightarrow 8b \\ \hline & & -b \end{array}$$

16 次の式を因数分解せよ.

(1) $2x^2-13x+6$

(3) $2x^2+3x+1$

(5) $2a^2-5a-3$

(7) $12a^2+7a-12$

(9) $5a^2-3a-2$

(11) $5m^2-17m+6$

(2) $12x^2-7xy-12y^2$

(4) $5a^2+7ab+2b^2$

(6) $8x^2-10xy+3y^2$

(8) $4x^2-41xy+10y^2$

(10) $3a^2+5ab+2b^2$

(12) $8s^2-14st-15t^2$

●ポイント

たすき掛けによる因数分解

$$acx^2+(ad+bc)x+bd=(ax+b)(cx+d)$$

$$\begin{array}{rcl} a & \times & b \longrightarrow ab \\ c & \times & d \longrightarrow cd \\ \hline & & ad+bc \end{array}$$

例題 10 いろいろな因数分解①

次の式を因数分解せよ。

(1) $9-9y+3xy-x^2$

(2) $a^2(b-c)+b^2(c-a)+c^2(a-b)$

(3) $(x^2+2x)^2-7(x^2+2x)-8$

解 (1) 次数の低い文字 y (1 次) について整理すると、

$$\begin{aligned}\text{与式} &= (3x-9)y - x^2 + 9 = 3(x-3)y - (x^2-9) = 3(x-3)y - (x-3)(x+3) \\ &= (x-3)(3y-x-3)\end{aligned}$$

(2) a, b, c すべての文字について 2 次式なので、1 つの文字について降べきの順に整理する。例えば、 a について整理すると、

$$\begin{aligned}\text{与式} &= (b-c)a^2 - (b^2-c^2)a + b^2c - bc^2 = (b-c)a^2 - (b+c)(b-c)a + bc(b-c) \\ &= (b-c)\{a^2 - (b+c)a + bc\} = (b-c)(a-b)(a-c)\end{aligned}$$

(3) $x^2+2x=X$ とおくと、

$$\text{与式} = X^2 - 7X - 8 = (X+1)(X-8) = (x^2+2x+1)(x^2+2x-8) = (x+1)^2(x+4)(x-2)$$

17 次の式を因数分解せよ。

(1) $xy-x-y+1$

(2) $x^2y-y^2z-y^3+x^2z$

(3) $a(b^2-c^2)+b(c^2-a^2)+c(a^2-b^2)$

(4) $ab(a-b)+bc(b-c)+ca(c-a)$

18 次の式を因数分解せよ。

(1) $(a+b)^2+10(a+b)+25$

(2) $5(x+y)^2-8(x+y)-4$

(3) $(x^2+4x)^2-8(x^2+4x)-48$

(4) $3(x^2-3x)^2-10(x^2-3x)-8$

例題 11 いろいろな因数分解② $x^2+4xy+3y^2+x+5y-2$ を因数分解せよ。**解** x について降べきの順に整理すると、

$$\begin{aligned}\text{与式} &= x^2 + (4y+1)x + 3y^2 + 5y - 2 = x^2 + (4y+1)x + (y+2)(3y-1) \\ &= (x+y+2)(x+3y-1)\end{aligned}$$

 $3y^2+5y-2$ のたすき掛け x の 2 次式とみたときのたすき掛け

$$\begin{array}{rcl} 1 & \times & 2 \longrightarrow 6 \\ 3 & \times & -1 \longrightarrow -1 \\ \hline & & 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{rcl} 1 & \times & y+2 \longrightarrow y+2 \\ 1 & \times & 3y-1 \longrightarrow 3y-1 \\ \hline & & 4y+1 \end{array}$$

19 次の式を因数分解せよ。

(1) $x^2-xy-12y^2+5x+y+3$

(2) $x^2+3xy+2y^2+4x+5y+3$

(3) $2x^2+5xy+3y^2+2x+4y-4$

(4) $6x^2-5xy-6y^2+4x+7y-2$

●ポイント

複雑な式の因数分解の基本方針

① 文字の次数が異なるときは、次数の低い文字について整理し、共通因数を調べる。

② 文字の次数が等しいときは、1 つの文字について降べきの順に整理する。

そのまま因数がわかるときと、文字式のたすき掛けが必要となるときがある。

例題 12 いろいろな因数分解③

次の式を因数分解せよ.

(1) $x^4 - 5x^2 + 4$

(2) $x^4 + 4$

解 (1) 与式 $= (x^2)^2 - 5x^2 + 4 = (x^2 - 1)(x^2 - 4) = (x + 1)(x - 1)(x + 2)(x - 2)$

(2) 与式 $= x^4 + \underline{4x^2} + 4 - 4x^2 = (x^2 + 2)^2 - (2x)^2 = (x^2 + 2x + 2)(x^2 - 2x + 2)$

20 次の式を因数分解せよ.

(1) $x^4 - 81$

(2) $x^4 - 8x^2 + 16$

(3) $x^4 - 10x^2 + 9$

(4) $x^4 - 29x^2 + 100$

(5) $3x^4 - x^2 - 2$

(6) $4x^4 - 25x^2 + 36$

21 次の式を因数分解せよ.

(1) $x^4 + 64$

(2) $x^4 + x^2 + 1$

(3) $4x^4 + y^4$

(4) $a^4 + a^2b^2 + 25b^4$

(5) $a^4 - 3a^2 + 9$

(6) $a^4 - 12a^2b^2 + 144b^4$

例題 13 3次式の展開

次の式を, 公式を用いて展開せよ.

(1) $(x + 2y)^3$

(2) $(3a - b)^3$

(3) $(2a - b)(4a^2 + 2ab + b^2)$

(4) $(x + 3y)(x^2 - 3xy + 9y^2)$

解 (1) 与式 $= x^3 + 3 \cdot x^2 \cdot 2y + 3 \cdot x \cdot (2y)^2 + (2y)^3 = x^3 + 6x^2y + 12xy^2 + 8y^3$

(2) 与式 $= (3a)^3 - 3 \cdot (3a)^2 \cdot b + 3 \cdot 3a \cdot b^2 - b^3 = 27a^3 - 27a^2b + 9ab^2 - b^3$

(3) 与式 $= (2a - b)\{(2a)^2 + 2a \cdot b + b^2\} = (2a)^3 - b^3 = 8a^3 - b^3$

(4) 与式 $= (x + 3y)\{x^2 - x \cdot 3y + (3y)^2\} = x^3 + (3y)^3 = x^3 + 27y^3$

22 次の式を, ポイント②を用いて展開せよ.

(1) $(a + 1)^3$

(2) $(x - 3y)^3$

(3) $(3x - 2)^3$

(4) $(5a + b)^3$

(5) $(a - 2)(a^2 + 2a + 4)$

(6) $(p + 4)(p^2 - 4p + 16)$

(7) $(xy + 3)(x^2y^2 - 3xy + 9)$

(8) $(3a - 2b)(9a^2 + 6ab + 4b^2)$

●ポイント

① $ax^4 + bx^2 + c$ (複2次)の形では, $x^2 = X$ において単純に因数分解できる場合と, 2次の項を付け加えて, $A^2 - B^2$ の形に導く場合がある.

② 3次式の展開の公式(複号同順)

(i) $(a \pm b)^3 = a^3 \pm 3a^2b + 3ab^2 \pm b^3$ (ii) $(a \pm b)(a^2 \mp ab + b^2) = a^3 \pm b^3$

[注] 3次式の展開について, 詳細は数学Ⅱで学習する.

23 次の式を展開せよ.

- (1) $(a+2)^3(a-2)^3$
- (2) $(x-1)^2(x^2+x+1)^2$
- (3) $(a+b)(a-b)(a^2+ab+b^2)(a^2-ab+b^2)$
- (4) $(a+b)^2(a-b)^2(a^4+a^2b^2+b^4)^2$
- (5) $(x+1)(x^2-x+1)(x^6-x^3+1)$
- (6) $(x+1)(x-1)(x^6-4)(x^4+x^2+1)$

例題 14 3 次式の因数分解

次の式を因数分解せよ.

(1) x^3+8 (2) $27x^3-y^3$

(3) $x^3+9x^2y+27xy^2+27y^3$

解 (1) 与式 $=x^3+2^3=(x+2)(x^2-2x+4)$

(2) 与式 $=(3x)^3-y^3=(3x-y)(9x^2+3xy+y^2)$

(3) 与式 $=x^3+3\cdot x^2\cdot 3y+3\cdot x\cdot (3y)^2+(3y)^3=(x+3y)^3$

24 次の式を因数分解せよ.

- (1) x^3+27 (2) x^3-64
- (3) $8x^3+1$ (4) $8a^3-27b^3$
- (5) x^3y^3-8 (6) $8a^3b^3+125c^3$
- (7) $(x+1)^3+8$ (8) $64ab^3-27a^4$

25 次の式を因数分解せよ.

- (1) $x^3-6x^2+12x-8$ (2) $x^3+9x^2+27x+27$
- (3) $8a^3+12a^2b+6ab^2+b^3$ (4) $27x^3-54x^2y+36xy^2-8y^3$

26 次の問いに答えよ.

(1) $a^3+b^3=(a+b)^3-\square$ を満たす $\square$ を因数分解した形で答えよ.

(2) (1)を用いて, $a^3+b^3+c^3-3abc$ を因数分解せよ.

(3) (2)を用いて, 次の式を因数分解せよ.

(ア) $x^3-y^3-8z^2-6xyz$

(イ) $x^3+3xy+y^3-1$

●ポイント

3 次式の因数分解の公式(複号同順)

① $a^3\pm b^3=(a\pm b)(a^2\mp ab+b^2)$ ② $a^3\pm 3a^2b+3ab^2\pm b^3=(a\pm b)^3$

[注] 3 次式の因数分解について, 詳細は数学 II で学習する.

混合問題

A

1 $A=2x+y+3z$, $B=-3x+2y-z$, $C=x-3y-2z$ であるとき, 次の式を計算せよ.

(1) $3A-2B+C$

(2) $5(A+B-C)-3(A+2B-C)$

2 次の式を展開せよ.

(1) $(2x+7y)^2$

(2) $(4ab+3c)(4ab-3c)$

(3) $a(a-4)(a+6)$

(4) $(2x-y+1)(2x+y-1)$

(5) $(a^2+2a-3)(a^2+2a-8)$

(6) $(a+b)(a-b)(a^2+b^2)(a^4+b^4)$

(7) $(x+1)^2(x-1)^2(x^2+1)^2$

(8) $(x+1)(x+2)(x-3)(x-6)$

3 次の式を因数分解せよ.

(1) a^3+10a^2+25a

(2) $10x^2-13xy-3y^2$

(3) $81x^4-256y^4$

(4) x^4-13x^2+36

(5) x^8-1

(6) $4x^2-y^2-4x+1$

(7) x^3-x^2-x+1

(8) $2(x^2+x)^2-7(x^2+x)-30$

(9) $a^2b-2ab^2+b^3+bc-ca$

(10) $x^2+3xy+2y^2+x+5y-12$

4 次の(1)~(3)の式を展開し, (4)~(6)の式を因数分解せよ.

(1) $(3x-4)^3$

(2) $(x+y)^3(x^2-xy+y^2)^3$

(3) $(x-1)(x-2)(x^2+x+1)(x^2+2x+4)$

(4) x^6-2x^3+1

(5) $a^6-7a^3b^3-8b^6$

(6) $a^3-6a^2b+12ab^2-8b^3$

B

5 次の式を計算せよ.

(1) $(x^3-x^2-x-3)(x^3+4x^2+4x-3)$

(2) $(x-a)(x-b)(a-b)+(x-b)(x-c)(b-c)+(x-c)(x-a)(c-a)$

6 次の式を因数分解せよ.

(1) $b^3+ab^2+2ab+2b^2+a+b$

(2) $(a+b)(b+c)(c+a)+abc$

(3) $(x-3)(x-1)(x+2)(x+4)+16$

(4) $9a^4+8a^2+16$

(5) $xyz+xy-2yz-zx-x-2y+2z+2$

(6) $a^4+b^4+c^4-2a^2b^2-2b^2c^2-2c^2a^2$

(7) $(x-y)^3+(y-z)^3+(z-x)^3$

■ヒント

⑥ (2) a について降べきの順に整理してから, たすき掛けを考える.

(7) $a^3+b^3+c^3-3abc=(a+b+c)(a^2+b^2+c^2-ab-bc-ca)$ を利用する.

2 実数

【例題】1 有理数と循環小数

次の分数は小数に、小数は分数になおせ.

(1) $\frac{3}{8}$

(2) $\frac{2}{7}$

(3) $0.\dot{2}\dot{7}$

(4) $0.3\dot{1}7\dot{8}$

【解】 (1) $\frac{3}{8}=0.375$ (2) $\frac{2}{7}=0.285714285714\cdots=0.\dot{2}8571\dot{4}$

(3) $x=0.\dot{2}\dot{7}$ とおくと,

$100x=27.27\cdots$

$$\begin{array}{r} -) \quad x = 0.27\cdots \\ \hline 99x = 27 \end{array}$$

よって, $x = \frac{3}{11}$

(4) $x=0.3\dot{1}7\dot{8}$ とおくと,

$10000x=3178.178\cdots$

$$\begin{array}{r} -) \quad 10x = 3.178\cdots \\ \hline 9990x = 3175 \end{array}$$

よって, $x = \frac{635}{1998}$

1 次の数の中から, (1)自然数, (2)整数, (3)有理数, (4)無理数を選ぶ.

$-4, \quad 0, \quad \frac{25}{5}, \quad \frac{9}{4}, \quad -\frac{9}{16}, \quad \sqrt{5}, \quad -\sqrt{16}, \quad (\sqrt{7})^2, \quad \frac{\pi}{2}, \quad 1.\dot{2}\dot{3}$

2 次の分数は小数に、小数は分数になおせ.

(1) $\frac{2}{9}$

(2) $\frac{4}{11}$

(3) $\frac{5}{37}$

(4) $0.\dot{7}$

(5) $0.4\dot{2}9$

(6) $0.3\dot{5}7$

【例題】2 絶対値

次の値を求めよ.

(1) $|4|$

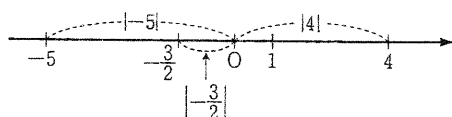
(2) $|-5|$

(3) $|\frac{-3}{2}|$

【解】 絶対値は、数直線上で原点からの距離を表す.

正の数はその値がそのまま絶対値となり,

負の数は符号を変えた数が絶対値となる.



【答】 (1) 4 (2) 5 (3) $\frac{3}{2}$

3 次の値を求めよ.

(1) $|-8|$

(2) $|3.4|$

(3) $|\frac{-7}{5}|$

(4) $|4-10|$

(5) $|-3|+|-4|$

(6) $|\frac{5}{2}| - |-\frac{2}{3}|$

(7) $|3-\sqrt{10}|$

(8) $|\pi-4|$

4 次の場合について, $|x-2|$ の絶対値の記号をはずせ.

(1) $x < 2$

(2) $x \geq 2$

5 次の場合について, $|a|+|a-3|$ を簡単にせよ.

(1) $a < 0$

(2) $0 \leq a < 3$

(3) $a \geq 3$

●ポイント

① 有理数は整数, 有限小数, 循環小数のいずれか, 無理数は循環しない無限小数で表される数である. 有理数と無理数をまとめて実数という.

② 0 の絶対値は 0 である. ③ $|a| = \begin{cases} a & (a \geq 0) \\ -a & (a < 0) \end{cases}$ である. $| \quad |$ の中が正か負かに注意する.

例題 3 絶対値の性質

次の問いに答えよ.

- (1) $|a| \geq a$ が成り立つことを証明せよ.
 (2) $|ab| = |a||b|$ が成り立つことを証明せよ. ただし, $a \geq 0, b < 0$ とする.

解 (1) $a \geq 0$ のとき, $|a| = a$ より, 等号が成り立つ.
 $a < 0$ のとき, $|a| = -a > 0$ よって, $|a| = -a > a$ より, 成り立つ.
 (2) $ab \leq 0$ より, $|ab| = -ab, |a| = a, |b| = -b$ より, $|a||b| = -ab$
 ゆえに, 等式が成り立つ.

6 例題3の(2)の等式が, 次の場合にも成り立つことを証明せよ.

- (1) $a \geq 0, b \geq 0$ (2) $a < 0, b \geq 0$ (3) $a < 0, b < 0$

7 次の式が成り立つことを証明せよ.

- (1) $|a| \geq -a$ (2) $|a|^2 = a^2$

8 $b \neq 0$ のとき, $|ab| = |a||b|$ を利用して, $\left|\frac{a}{b}\right| = \frac{|a|}{|b|}$ を証明せよ.

例題 4 平方根

次の問いに答えよ.

- (1) 25の平方根を求めよ. (2) $\sqrt{28}$ を $a\sqrt{b}$ の形で表せ.
 (3) $\sqrt{a^2}$ の根号をはずせ.

解 (1) 正の数, 負の数の2つがある. $\pm\sqrt{25} = \pm 5$
 (2) $\sqrt{28} = \sqrt{2^2 \cdot 7} = 2\sqrt{7}$
 (3) $a \geq 0$ のとき, $\sqrt{a^2} = a$ $a < 0$ のとき, $\sqrt{a^2} = -a$ ($\sqrt{a^2} = |a|$ と同じ)

9 次の数の平方根を求めよ.

- (1) 49 (2) 144 (3) $\frac{16}{9}$ (4) 15 (5) 33

10 $\sqrt{4^2}, \sqrt{(-5)^2}, (\sqrt{6})^2$ の値をそれぞれ求めよ.

11 次の数を $a\sqrt{b}$ の形で表せ.

- (1) $\sqrt{27}$ (2) $\sqrt{20}$ (3) $\sqrt{32}$ (4) $\sqrt{75}$ (5) $\sqrt{112}$

12 次の場合について, $\sqrt{(x-1)^2}$ の根号をはずせ.

- (1) $x < 1$ (2) $x \geq 1$

●ポイント

- ① $\sqrt{a^2} = |a|$ ② $a > 0, b > 0$ のとき, $\sqrt{a^2 b} = a\sqrt{b}$

例題 5 根号を含む式の計算

次の式を計算せよ.

(1) $\sqrt{45}-\sqrt{80}-\sqrt{5}$

(2) $(\sqrt{5}+2\sqrt{2})^2$

解 (1) 与式 $= 3\sqrt{5}-4\sqrt{5}-\sqrt{5} = (3-4-1)\sqrt{5} = -2\sqrt{5}$

(2) 与式 $= (\sqrt{5})^2 + 2 \cdot \sqrt{5} \cdot 2\sqrt{2} + (2\sqrt{2})^2 \leftarrow (a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ を利用
 $= 5 + 4\sqrt{10} + 8 = 13 + 4\sqrt{10}$

13 次の式を計算せよ.

(1) $\sqrt{27}+\sqrt{12}$

(2) $\sqrt{8}+\sqrt{18}-\sqrt{72}$

(3) $2\sqrt{32}-\sqrt{18}+3\sqrt{8}$

(4) $3\sqrt{3}+2\sqrt{\frac{27}{4}}-\sqrt{48}$

(5) $(2\sqrt{2}-\sqrt{6})^2$

(6) $(3\sqrt{2}-\sqrt{3})(\sqrt{2}+2\sqrt{3})$

(7) $(2\sqrt{5}-\sqrt{6})(2\sqrt{5}+\sqrt{6})$

(8) $(\sqrt{3}+\sqrt{2})^2-(\sqrt{3}-\sqrt{2})^2$

(9) $(\sqrt{6}-\sqrt{3}-\sqrt{2})^2$

(10) $(1+\sqrt{2}+\sqrt{3})(1+\sqrt{2}-\sqrt{3})$

例題 6 分母の有理化

次の式の分母を有理化せよ.

(1) $\frac{3}{\sqrt{6}}$

(2) $\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{\sqrt{5}-\sqrt{3}}$

解 (1) $\frac{3}{\sqrt{6}} = \frac{3 \times \sqrt{6}}{\sqrt{6} \times \sqrt{6}} = \frac{3\sqrt{6}}{6} = \frac{\sqrt{6}}{2}$

(2) $\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{\sqrt{5}-\sqrt{3}} = \frac{(\sqrt{5}+\sqrt{3})^2}{(\sqrt{5}-\sqrt{3})(\sqrt{5}+\sqrt{3})} = \frac{5+2\sqrt{15}+3}{5-3} = \frac{8+2\sqrt{15}}{2} = 4+\sqrt{15}$

14 次の式の分母を有理化せよ.

(1) $\frac{2}{\sqrt{5}}$

(2) $\frac{9}{2\sqrt{6}}$

(3) $\frac{1}{\sqrt{6}+\sqrt{3}}$

(4) $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{6}-\sqrt{2}}$

(5) $\frac{2\sqrt{2}}{\sqrt{6}+2}$

(6) $\frac{\sqrt{7}+\sqrt{3}}{\sqrt{7}-\sqrt{3}}$

(7) $\frac{3-2\sqrt{2}}{3+2\sqrt{2}}$

(8) $\frac{\sqrt{6}-3\sqrt{3}}{\sqrt{6}+\sqrt{3}}$

15 次の計算をせよ.

(1) $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{6}+\sqrt{3}} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{6}-\sqrt{3}}$

(2) $\frac{1}{\sqrt{5}-2} + \frac{1}{\sqrt{5}-1}$

●ポイント

① $a>0, b>0$ のとき, $m\sqrt{a} \pm n\sqrt{a} = (m \pm n)\sqrt{a}$, $\sqrt{a}\sqrt{b} = \sqrt{ab}$, $\frac{\sqrt{a}}{\sqrt{b}} = \sqrt{\frac{a}{b}}$

② [分母の有理化] 分母が $\sqrt{a}$ の形の場合 $\rightarrow$ 分母, 分子に $\sqrt{a}$ を掛ける.分母が $\sqrt{a} \pm \sqrt{b}$ の形の場合 $\rightarrow$ 分母, 分子に $\sqrt{a} \mp \sqrt{b}$ を掛ける.

例題 7 式の値

次の問いに答えよ。

(1) $x = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1}$, $y = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1}$ のとき, x^2+y^2 の値を求めよ。

(2) $\sqrt{6}$ の整数部分を a , 小数部分を b とするとき, a^2-b^2 の値を求めよ。

解 (1) $x+y = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1} = \frac{\sqrt{3}(\sqrt{2}-1) + \sqrt{3}(\sqrt{2}+1)}{(\sqrt{2}+1)(\sqrt{2}-1)} = 2\sqrt{6}$,

$$xy = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1} \cdot \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1} = 3 \text{ より,}$$

$$x^2+y^2 = (x+y)^2 - 2xy = (2\sqrt{6})^2 - 2 \cdot 3 = 18$$

(2) $2 < \sqrt{6} < 3$ より, $\sqrt{6}$ の整数部分は 2 となる. よって, $a=2$, $b=\sqrt{6}-2$

$$a^2-b^2 = 2^2 - (\sqrt{6}-2)^2 = 4 - (10 - 4\sqrt{6}) = 4\sqrt{6} - 6$$

16 $x = \frac{1}{\sqrt{3}-\sqrt{2}}$, $y = \frac{1}{\sqrt{3}+\sqrt{2}}$ のとき, 次の式の値を求めよ。

(1) $x+y$

(2) xy

(3) x^2+y^2

(4) x^4+y^4

17 $x = \frac{3+\sqrt{5}}{3-\sqrt{5}}$ のとき, 次の式の値を求めよ。

(1) $x - \frac{1}{x}$

(2) $x^2 + \frac{1}{x^2}$

18 $5-\sqrt{2}$ の整数部分を a , 小数部分を b とするとき, a^2+b^2 の値を求めよ。

例題 8 二重根号のはずし方

次の二重根号をはずせ。

(1) $\sqrt{4+2\sqrt{3}}$

(2) $\sqrt{5-\sqrt{24}}$

(3) $\sqrt{4-\sqrt{15}}$

解 $a > b > 0$ のとき, $\sqrt{a+b \pm 2\sqrt{ab}} = \sqrt{(\sqrt{a} \pm \sqrt{b})^2} = \sqrt{a} \pm \sqrt{b}$ であることを利用する。

(1) $\sqrt{4+2\sqrt{3}} = \sqrt{3+1+2\sqrt{3 \cdot 1}} = \sqrt{3}+1$

(2) $\sqrt{5-\sqrt{24}} = \sqrt{5-2\sqrt{6}} = \sqrt{3+2-2\sqrt{3 \cdot 2}} = \sqrt{3}-\sqrt{2}$

(3) $\sqrt{4-\sqrt{15}} = \sqrt{4-\frac{2\sqrt{15}}{2}} = \sqrt{\frac{8-2\sqrt{15}}{2}} = \frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{10}-\sqrt{6}}{2}$

19 次の二重根号をはずせ。

(1) $\sqrt{3+2\sqrt{2}}$

(2) $\sqrt{10-2\sqrt{21}}$

(3) $\sqrt{8+2\sqrt{15}}$

(4) $\sqrt{9-2\sqrt{14}}$

(5) $\sqrt{7+4\sqrt{3}}$

(6) $\sqrt{12-4\sqrt{5}}$

(7) $\sqrt{7-\sqrt{24}}$

(8) $\sqrt{6+\sqrt{20}}$

(9) $\sqrt{4+\sqrt{7}}$

●ポイント

① $\sqrt{A \pm 2\sqrt{B}} = \sqrt{a} \pm \sqrt{b}$ ($a > b$) 和が A , 積が B となる 2 つの正の数 a , b を求める。

混合問題

A

1 次の小数を分数になおせ.

(1) $0.\dot{4}\dot{2}$

(2) $0.53\dot{1}$

(3) $0.421\dot{6}$

2 次の場合について, $|x+2|-|x-4|$ を簡単にせよ.

(1) $x < -2$

(2) $-2 \leq x < 4$

(3) $x \geq 4$

3 次の式を計算せよ.

(1) $(3\sqrt{2}+\sqrt{7})(3\sqrt{2}-\sqrt{7})$

(2) $(\sqrt{5}+\sqrt{2}-1)^2$

(3) $\frac{2\sqrt{5}+3\sqrt{2}}{2\sqrt{5}-3\sqrt{2}}$

(4) $\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{6}+\sqrt{5}} - \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{6}-\sqrt{5}}$

(5) $\frac{1}{\sqrt{5}+1} + \frac{2}{\sqrt{5}-2}$

(6) $\frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}+2\sqrt{2}}{\sqrt{5}+\sqrt{3}+2\sqrt{2}}$

4 $\frac{\sqrt{3}+1}{\sqrt{3}-1}$ の整数部分を a , 小数部分を b とするとき, $a-\sqrt{3}b$ の値を求めよ.

5 次の二重根号をはずせ.

(1) $\sqrt{10+2\sqrt{21}}$

(2) $\sqrt{8-\sqrt{60}}$

(3) $\sqrt{2-\sqrt{3}}$

B

6 $a \neq 0$ とする. $x=a^2+1$ のとき, 次の場合について, $\frac{\sqrt{x+2a}-\sqrt{x-2a}}{\sqrt{x+2a}+\sqrt{x-2a}}$ を a の式で表せ.

(1) $a < -1$

(2) $-1 \leq a < 1$ ($a \neq 0$)

(3) $a \geq 1$

7 $x+y+z=2\sqrt{3}$, $xy+yz+zx=-3$, $xyz=1$ のとき, 次の式の値を求めよ.

(1) $x^2+y^2+z^2$

(2) $x^3+y^3+z^3$

8 $x=\frac{2-\sqrt{2}}{2+\sqrt{2}}$ のとき, 次の式の値を求めよ.

(1) $x+\frac{1}{x}$

(2) $x^2+\frac{1}{x^2}$

(3) $x^3+\frac{1}{x^3}$

(4) $x^4+\frac{1}{x^4}$

■ ヒント

6 x に a^2+1 を代入すると, $\sqrt{(\quad)^2}$ の形になる. $\sqrt{(\quad)^2}$ は安易に $\sqrt{\quad}$ をはずしてはいけない.7 与式を, $x+y+z$, $xy+yz+zx$, xyz で表すことを考える.8 まず, $x+\frac{1}{x}$ の値を求め, それをもとに(2)~(4)の値を求める.

3 1 次不等式

【例題】1 不等式の表し方

次の数量の間の大小関係を不等式で表せ.

- (1) x を5倍して7を引いた数は, x の2倍より大きい.
- (2) ある学生の3回のテストの点は a 点, b 点, c 点で, その平均点は m 点以下である.

【解】(1) 大きい, 小さいを表すときは, $>$, $<$ を使う. $5x-7>2x$

(2) 以上, 以下を表すときは, $\geq$, $\leq$ を使う. $\frac{a+b+c}{3} \leq m$

1 次の数量の間の大小関係を不等式で表せ.

- (1) x を2倍して5を足した数は, x の3倍より大きい.
- (2) a と b の和の4倍は, a から b の7倍を引いた数以上である.
- (3) 1個 a g のせっけん20個を b g の箱に入れても, 全体で1000gに満たない.
- (4) 30kmの道のりを自転車で行くのに, 毎時 a kmの速さで走ると y 時間以上かかる.
- (5) 1個100円のかきと1個150円のりんごをそれぞれ x 個と y 個買って, z 円のケースに入れてもらったら, 2500円以下におさまった.

【例題】2 不等式の性質

$a>b$ のとき, 次の $\square$ にあてはまる不等号を書け.

- (1) $a-3\square b-3$
- (2) $\frac{a}{3}\square\frac{b}{3}$
- (3) $-2a\square-2b$

- 【解】(1) 両辺から同じ数を引いても, 不等号の向きは変わらない. $>$
- (2) 両辺を同じ正の数で割っても, 不等号の向きは変わらない. $>$
- (3) 両辺に同じ負の数を掛けると, 不等号の向きが変わる. $<$

2 $a<b$ のとき, 次の $\square$ にあてはまる不等号を書け.

- (1) $a+6\square b+6$
- (2) $a-10\square b-10$
- (3) $-7a\square-7b$
- (4) $-2+5a\square-2+5b$
- (5) $\frac{3+4a}{7}\square\frac{3+4b}{7}$
- (6) $\frac{5-2a}{3}\square\frac{5-2b}{3}$

●ポイント

- ① 数量の間の大小関係を不等号を使って表した式を不等式といい, 不等号の左側の部分を左辺, 右側の部分を右辺といい, 左辺と右辺を合わせて両辺という.
- ② 【不等式の性質】
 - (1) $A<B$ ならば, $A+C<B+C$, $A-C<B-C$
 - (2) $A<B$, $C>0$ ならば, $AC<BC$, $\frac{A}{C}<\frac{B}{C}$
 - (3) $A<B$, $C<0$ ならば, $AC>BC$, $\frac{A}{C}>\frac{B}{C}$

3 $x > y$ のとき、次の2式ではどちらが大きいのか。

(1) $\frac{x}{3} + 8, \frac{y}{3} + 8$

(2) $10 - 0.6x, 10 - 0.6y$

(3) $\frac{7-x}{2}, \frac{7-y}{2}$

4 次のような大小関係があるとき、 a と b の大小関係を不等号を使って表せ。

(1) $a - 4 > b - 4$

(2) $a + 2 < b + 2$

(3) $-6a > -6b$

(4) $9 - 4a < 9 - 4b$

(5) $\frac{a}{5} + 3 < \frac{b}{5} + 3$

(6) $6 - \frac{a}{2} < 6 - \frac{b}{2}$

例題 3 基本的な不等式の解法

次の不等式を解け。また、解の集合を数直線上に表せ。

(1) $x + 8 > 5$

(2) $5x \leq 15$

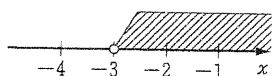
(3) $-\frac{x}{3} > 2$

解 (1) $x + 8 > 5$

両辺から8を引く。

$$x + 8 - 8 > 5 - 8$$

$$x > -3$$

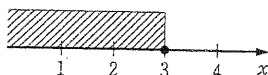


(2) $5x \leq 15$

両辺を5で割る。

$$\frac{5x}{5} \leq \frac{15}{5}$$

$$x \leq 3$$

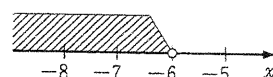


(3) $-\frac{x}{3} > 2$

両辺に-3を掛ける。

$$-\frac{x}{3} \times (-3) < 2 \times (-3)$$

$$x < -6$$



5 次の不等式を解け。また、解の集合を数直線上に表せ。

(1) $x + 3 > 7$

(2) $x - 1.7 < 1.8$

(3) $-9 + x \geq -3$

6 次の不等式を解け。

(1) $x + 2 < 1$

(2) $x - 8 \leq 5$

(3) $x + \frac{2}{3} > \frac{5}{6}$

(4) $-2.5 + x \geq 0.5$

(5) $9x < 27$

(6) $-8x \leq 32$

(7) $-7x > -63$

(8) $13x \leq -169$

(9) $-15x < -24$

7 次の不等式を解け。

(1) $\frac{x}{4} > 3$

(2) $-\frac{x}{2} < 5$

(3) $-\frac{x}{7} \geq -4$

(4) $\frac{1}{4}x \leq -2$

(5) $-\frac{3}{8}x \leq \frac{5}{12}$

(6) $-\frac{2}{9}x > -\frac{16}{27}$

●ポイント

- ① 不等式のすべての解を求めることを、その不等式を解くという。
- ② 不等式を解くには、不等式の性質を利用して、左辺を x だけにする。
- ③ 不等式の両辺に負の数を掛けたり、両辺を負の数で割ったりすると、不等号の向きが変わる。
- ④ 不等式の解の集合を数直線上に表すとき、 a を含まない場合 ($x > a, x < a$ の場合) は a の点を「○」で、 a を含む場合 ($x \geq a, x \leq a$ の場合) は a の点を「●」で表す。

例題 4 1次不等式の解法

次の1次不等式を解け.

(1) $5x-2>3x+4$

解 (1) $5x-2>3x+4$
 $5x-3x>4+2$ ← 移項する.
 $2x>6$ ← 両辺を整理する.
 $x>3$ ← 両辺を2で割る.

(2) $2(x+4)-5x\leq 14$

(2) $2(x+4)-5x\leq 14$
 $2x+8-5x\leq 14$ ← カッコをはずす.
 $2x-5x\leq 14-8$ ← 移項する.
 $-3x\leq 6$ ← 両辺を整理する.
 $x\geq -2$ ← 両辺を-3で割る.
 不等号の向きが変わる.

8 次の1次不等式を解け.

(1) $4x-8>2x$

(2) $12-3x\leq 4x$

(3) $5-3x\leq 7-10x$

(4) $7x-30<10x-9$

(5) $25x-38\geq 49x-18$

(6) $65+36x<11+27x$

(7) $12x+11<20x-7$

(8) $200-5x\geq 3x+64$

(9) $5(3x-2)<-1$

(10) $2x-(5x+3)+12\geq 0$

(11) $29-7(8-3x)\leq 18x$

(12) $3(x-2)>4(x+1)-5$

(13) $2(x-2)>3(4-x)+4$

(14) $3(2x-3)-2(1+5x)\geq 13$

(15) $4(2x-5)-3x>2-2(x-3)$

(16) $8x-2(3x+5)\leq 3x-2(x-10)$

9 次の1次不等式を解け.

(1) $2.1-x>0.5x$

(2) $0.4x-1.1<0.7x+3.1$

(3) $0.45x-0.36<0.38x+0.27$

(4) $0.11x+0.4\geq 0.96+0.2x$

(5) $3.2x+4.2\geq 2(x-0.6)+1.8$

(6) $0.3(4x+0.6)<1.5x+0.63$

(7) $\frac{2}{3}+\frac{1}{5}x\leq \frac{1}{3}x$

(8) $\frac{2}{3}x-\frac{1}{5}>\frac{1}{2}x-\frac{1}{2}$

(9) $3-\frac{5x-1}{3}>2x+1$

(10) $\frac{3x+1}{2}>\frac{2x-3}{5}$

(11) $\frac{3}{4}x<\frac{2x-1}{2}+\frac{3}{4}$

(12) $\frac{-4x+1}{2}-\frac{x}{6}\geq \frac{3x-1}{4}+\frac{9}{2}$

●ポイント

- ① $ax+b>0$ のように, 移項して整理すると左辺が x の1次式になる不等式を1次不等式という.
- ② 不等式の両辺に同じ数を足しても, 両辺から同じ数を引いても, 不等号の向きは変わらない. よって, 不等式も方程式の場合と同じように移項ができる.
- ③ 両辺に負の数を掛けたり, 両辺を負の数で割ったりするときは, 不等号の向きに注意する.
- ④ 小数を含む不等式は, 両辺に10, 100などを掛けて, 係数を整数にする.
- ⑤ 分数を含む不等式は, 両辺に分母の最小公倍数を掛けて, 分母をはらう.

10 次の問いに答えよ.

- (1) 不等式 $2(3x+2)+a>9x$ の解が $x<3$ のとき, a の値を求めよ.
- (2) x についての方程式 $7x-2(x-a)=8$ の解が正になるような a の値の範囲を求めよ.

例題 5 1次不等式の応用——

1冊110円のノートと1冊80円のノートを含わせて10冊買って, その代金を1000円以下にした
い. 1冊110円のノートをできるだけ多く買うには, それぞれ何冊買えばよいか.

解 110円のノートを x 冊買うとすると, 80円のノートは $(10-x)$ 冊買うことになる.

よって, 不等式は, $110x+80(10-x)\leq 1000$ これを解くと, $x\leq 6\frac{2}{3}$

$6\frac{2}{3}$ 以下の最大の自然数は6であるから, 110円のノートは6冊

$10-6=4$ であるから, 80円のノートは4冊

11 次の問いに答えよ.

- (1) 1個の値段がそれぞれ160円, 120円のりんごとみかんを含わせて15個入れた果物かごを作る.
かご代150円を含めて, 代金の合計が2400円をこえないようにしたい. りんごをできるだけ多く
入れるとすると, それぞれ何個入れればよいか.
- (2) 野球選手カードをAは46枚, Bは14枚持っている. AがBに何枚かあげても, Aの残りの枚数
がBの枚数の2倍より多くなるようにしたい. AはBに何枚まであげられるか.

12 次の問いに答えよ.

- (1) A店では, 定価が1個800円のある商品を10%引きで売っている. B店では, 同じ商品を1ダ
ースまでは定価どおりの800円で, それをこえた分は1個につき定価の17%引きで売っている.
この商品を何個以上買うと, B店で買う方がA店で買うより安くなるか.
- (2) 5%の食塩水と8%の食塩水がある. 5%の食塩水800gと8%の食塩水を何gか混ぜ合わせ
て6%以上の食塩水を作りたい. 8%の食塩水を何g以上混ぜればよいか.

13 次の問いに答えよ.

- (1) A地から15km離れたB地まで歩いた. はじめは平らな道を毎時5km, 途中から上り坂を毎
時3kmの速さで歩いた. 所要時間が4時間以内のとき, 平らな道は何km以上あったか.
- (2) ある美術館の入館料は1人700円で, 30人以上の団体は2割引きとなる. この美術館に30人に
満たない団体が入館するとき, 30人の団体扱いとして入館する方が, 通常の料金で入館するより
安くなるのは, 人数が何人以上のときか.

●ポイント——

- ① 問題に述べられた関係から不等式をつくって解き, 解の中から条件に合うものを選択する.

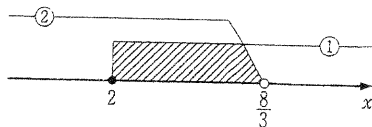
例題 6 連立不等式

連立不等式 $\begin{cases} 2x-1 \geq 3 \\ 3x+4 < 12 \end{cases}$ を解け.

解 $2x-1 \geq 3$ を解いて, $x \geq 2$ ……①

$3x+4 < 12$ を解いて, $x < \frac{8}{3}$ ……②

①, ②の共通部分をとって, $2 \leq x < \frac{8}{3}$



14 次の連立不等式を解け.

(1) $\begin{cases} 2x-3 < 5 \\ 3x+2 \geq 8 \end{cases}$

(2) $\begin{cases} 4x+1 \geq 2x-3 \\ 4x-3 > 7x-9 \end{cases}$

(3) $\begin{cases} 7(x+2) > 4x+5 \\ 3(2x+1) \geq 4x+7 \end{cases}$

(4) $\begin{cases} 3x+1 \leq 5(x-1) \\ 5(x-2)+1 \leq 3(x+1) \end{cases}$

(5) $\begin{cases} 0.2x-1 < 0.7x-2 \\ 2.3x-1.4 < 0.7(2x+7) \end{cases}$

(6) $\begin{cases} 0.25x-0.18 \geq 0.6-0.14x \\ 3x+1 \geq 5x-1 \end{cases}$

(7) $\begin{cases} \frac{8x+12}{7} < x + \frac{3}{2} \\ 5-6x > -x-5 \end{cases}$

(8) $\begin{cases} \frac{11}{4}x - \frac{3}{2} > 2x-5 \\ \frac{2}{3}x + \frac{1}{6} \leq -\frac{1}{2}x - \frac{3}{2} \end{cases}$

15 次の不等式を解け.

(1) $3x+1 < x-3 < 4x+9$

(2) $3(x-1)-1 < 5(x+1)-6 < 2(x-2)+5$

16 次の問いに答えよ.

- (1) 1冊120円のノートと1冊80円のノートを合わせて10冊買って, その代金を900円以上1000円以下にしたい. 1冊120円のノートは何冊以上何冊以下買えばよいか.
- (2) A地から20km離れたB地まで歩いた. はじめは時速6km, 途中から時速5kmで歩くと, 3時間30分以上3時間40分以下で着いた. 時速6kmで歩いた道のりは何km以上何km以下か.
- (3) ある店では, 商品に原価の25%の利益を見込んで定価をつける. 定価から300円値引きして売っても, なお原価の10%以上15%以下の利益が得られるのは, 原価がどのような範囲のときか.

17 x についての連立不等式 $\begin{cases} 4x-5 \leq 9+2x \\ 3x-2 \leq 6x-a \end{cases}$ を満たす整数 x の個数が5個となるような a の値の範囲を定めよ.

●ポイント

- ① 2つ以上の不等式を組み合わせたものを連立不等式という.
- ② 連立不等式を解くには, それぞれの不等式を解いて, それらの解の共通の範囲を求める.
- ③ 連立不等式は必ず解をもつとは限らない.
- ④ $A < B < C$ のとき, $\begin{cases} A < B \\ B < C \end{cases}$ が同時に成り立つので, これを連立不等式として解けばよい.

例題 7 絶対値を含む方程式

次の方程式を解け.

(1) $|x-1|=3$

(2) $|x+1|=2x$

解 (1) (i) $x \geq 1$ のとき, $x-1=3$ より, $x=4$ (ii) $x < 1$ のとき, $-(x-1)=3$ より, $x=-2$ よって, $x=-2, 4$ 〔別解〕 $|(\quad)|=a$ (a は定数, $a>0$) は, $(\quad)=\pm a$ として解くこともできる.(2) (i) $x \geq -1$ のとき, $x+1=2x$ より, $x=1$ これは $x \geq -1$ に適する.(ii) $x < -1$ のとき, $-(x+1)=2x$ より, $x=-\frac{1}{3}$ これは $x < -1$ に適さない.よって, $x=1$ **18** 次の方程式を解け.

(1) $|x|=2$

(2) $|x+1|=4$

(3) $|x-3|=8$

(4) $|3x-2|=6$

(5) $|2x-1|-6=5$

(6) $3|x-1|+5=7$

19 次の方程式を解け.

(1) $|x+5|=2x$

(2) $|x-1|=2x+1$

(3) $|3x-4|=x+8$

例題 8 絶対値を含む不等式

次の不等式を解け.

(1) $|x+1|<4$

(2) $|x+2|>2x$

解 (1) 与えられた不等式は, $-4<x+1<4$ と同じである. $-4<x+1$ より, $x>-5$ $x+1<4$ より, $x<3$ よって, $-5<x<3$ 〔注〕 $|(\quad)|<a \iff -a<(\quad)<a$, $|(\quad)|>a \iff (\quad)>a$, $(\quad)<-a$ ただし, a は定数で, $a>0$ (2) $x \geq -2$ のとき, $x+2>2x$ より, $x<2$ よって, $-2 \leq x < 2$ ……① $x < -2$ のとき, $-(x+2)>2x$ より, $x<-\frac{2}{3}$ よって, $x<-2$ ……②①, ②のどちらかを満たしていればよいから, $x<2$ **20** 次の不等式を解け.

(1) $|x| \leq 5$

(2) $|x+2|<3$

(3) $|x-1| \geq 2$

(4) $|2x+1|<4$

(5) $|3-x|+2>7$

(6) $2|5x-2|-5 \leq 3$

21 次の不等式を解け.

(1) $|x+6|>3x$

(2) $|2x-1| \leq x+2$

(3) $x+|x+1|>4x-3$

●ポイント

① 絶対値を含む方程式, 不等式では, 絶対値記号をはずして解いた解のうち, 適するものを選ぶ.